

〈名画の扉〉

大川美術館企画展から

本作は、企画展の最後の部屋に展示されています。鮮やかな背景の青の中に、すっと伸びた緑の茎と葉。小ぶりに咲いた白と赤の花がかわいらしいです。竣介はこの前年の夏に代表作である「街」という大画面の青を基調とした作品を描いています。が、本作ではまた違ったさわやかな青を楽しむことができます。背景は大きな筆遣いで、何層も絵の具が塗り重ねられています。所々に見られる、筆のふちにたまってできたであろう絵の具の盛り

松本竣介 (1912~48年)

「夏の花」

1939年7月、油彩、板  
23・8センチ×33・0センチ  
(個人蔵)



(池田)